



月刊 さいとう健



新春号

平成25年1月7日発行

「新年、まずは 経済対策を！」

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。

大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。

零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。

日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に外向)などに携わる。

平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。

平成21年衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。

平成24年衆議院総選挙において、千葉七区より二期目の当選。

現在、環境大臣政務官として除染や放射性焼却灰処理問題に奮闘中。

〔趣味〕 ハンドボール、カラオケ、読書、映画

〔好きな食べ物〕 ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)

〒270-0137 流山市市野谷665-40-103

TEL: 04-7157-6223 FAX: 04-7157-6224

E-mail : info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所

〒100-8981

千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室

TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221

新しい年を迎えました。

政権も新しくなりました。気分も一新して、力強く前に進んでいきたいと思えます。

新政権がまずやらねばならないのは、経済対策です。景気が上向かない限り、他の政策課題もうまく進められません。

社会保障を充実させるためにも、日本の外交に迫力をつけるためにも、財政を再建するためにも、そして、復興を促進するためにも、まずは経済がしっかりしていなくてはなりません。

安倍新政権では、20年続いたデフレからの脱却を最優先事項として、大胆な金融緩和を実行に移すことにしております。

先進国の中で、デフレから脱却できていないのは日本だけです。また、先進国の中で、一番金融緩和に消極的な中央銀行は、日本銀行です。

日本銀行をもっと働かせて、デフレに決着をつけなければなりません。そのためには、政府と日銀で共通のインフレ目標を打ち立て、しっかりスクラムを組んで、それぞれが今までやったことのないような手を打つ、これにつきます。

特に日銀は、インフレ目標を掲げて、その実現に責任を持って十分な金融緩和を進めなければなりません。

一方で、金融緩和を進めても、実需がなければ空回りしてしまいます。実需の面は政府が受け持ち、しっかりした経済対策で、民間設備投資や研究開発投資を促し、更には必要な公共事業などで実需を生み出してゆく。

日銀の金融緩和と政府の経済対策が車の両輪となって、一つのデフレ脱却という目標に向かって進んでいく。そういう展開を年初にぜひとも作り上げていきたいと思えます。

そういう意味では、今月中旬に策定する政府の経済対策は大変重要です。政府挙げて最善の策を講じていきたいと思えますし、日銀におきまして、21日と22日の両日に行われます政策決定会合において、2%のインフレターゲットの設定に踏み込んでいただきたいと切に望みます。

そういったしませんと、せつかく1万700円台に回復した株価も、1ドル88円にまで持ち直した為替レートも、元の木阿弥になりかねませんので。

お陰様をもちまして、さいとう健は、昨年末の27日、環境大臣政務官を拝命いたしました。

今の環境省は、仕事の範囲が大きく広がっております。自然環境保護という従来の仕事に加えまして、災害ガレキの処理、放射性廃棄物の処分地問題、ホットスポットの除染、更には、原子力規制委員会を抱えて原発の再稼働問題、CO2をはじめとする地球温暖化対策など、重い課題が山積みです。

性根を据えて取り組んでまいりますので、皆様方のご指導、ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成25年1月7日

さいとう 健

※現行法令上、印刷物での年始のあいさつ、選挙のお礼のあいさつができないことになっておりますこと、ご理解いただければ幸いです。

〈さいとう健の写真活動報告〉



選挙戦の幕開け。多くの仲間を支えられ、大変心強く感じられます。



新松戸ダイエー前に、同期の小泉進次郎氏が応援に駆け付けてくれました。4000名の聴衆に驚き！



環境大臣政務官に就任し、安倍総理との写真。前から2列目、右から2人目がさいとう健です。



年末年始も引き続き、地域の催し物に飛び入り参加させて頂いています。ヨイショ！

メルマガ **さいとう健**

名前・住所の登録不要。

月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。

返信すれば匿名で意見を伝えられます。

<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

やっぱり
この界に!